

令和5年度 横浜氷取沢高等学校姉妹校交流（大韓民国）の取組

1. 令和2年度から4年度までの取組

令和2年度から4年度までは新型コロナウイルス感染症が拡大したため、ホームステイをメインとする相互訪問による交流を一時停止し、オンライン会議システム（Zoom）を使用したオンラインによる交流を行っていた。

2. 令和5年度の取組概要

令和5年度の取組概要は次のとおりである。

取組時期	内容
4月中旬	・ 始興陵谷高等学校の担当者と連絡を取り、相互訪問による交流を再開する方向で校内調整を行った。 ・ 両校の校長が相互訪問による交流再開を了承し、実施のための動き出しを行った。
5月8日	・ 新型コロナウイルス感染症が2類相当の感染症から5類感染症に移行した。
5月25日	・ 生徒向けの説明会を実施した。
6月22日	・ 韓国姉妹校交流委員の任命と説明会を実施した。
7月中旬	・ 韓国語講習会を実施した。（～8月中旬）
8月21日	・ 始興陵谷高等学校を訪問した。（～8月24日）
12月19日	・ 始興陵谷高等学校が来校（～12月21日）

3. 韓国姉妹校訪問の具体的内容

本校から始興陵谷高等学校への訪問についての詳細は次のとおりである。

- ・ 本校の参加者：1年生6名、2年生10名、3年生5名
- ・ 始興陵谷高等学校の参加者1年生7名、2年生14名

日付	時間	内容
8月21日 (月)	午前 午後 夕	・ 東京国際空港（羽田空港）から空路で韓国の金浦空港に到着 ・ ソウル市内の景福宮などの見学 ・ ソウル市内のホテルに宿泊
8月22日 (火)	午前	・ バスで始興陵谷高等学校に移動 ・ 始興陵谷高等学校で次の行事などを行った ・ 対面式 ・ 始興陵谷高等学校長のあいさつ ・ 藤岡副校長のあいさつ

日付	時間	内容
8月22日 (火)	午前 午後 夕	<ul style="list-style-type: none"> ・両校代表生徒のあいさつ ・体育、英語、日本語の授業に分かれて参加 ・歓迎式 ・ホームステイ先に分かれて分宿
8月23日 (水)	午前 午後 夕	<ul style="list-style-type: none"> ・クァンミョン（光明）洞窟の見学 ・韓国漫画博物館の見学と実技 ・ホームステイ先に分かれて分宿
8月24日 (木)	午前 午後 夕	<ul style="list-style-type: none"> ・送別式 ・ソウル市内へ移動 ・ソウル市内での班別自主行動 ・金浦空港から空路で東京国際空港（羽田空港）に到着

4. 韓国姉妹校の来校

日付	時間	内容
12月19日 (火)	午前 昼 午後 夕	<ul style="list-style-type: none"> ・対面式 ・坪内校長のあいさつ ・始興陵谷高等学校の教頭あいさつ ・両校生徒代表のあいさつ ・調理実習（和食作り体験） ・日本の文化体験（かるた・茶道） ・授業への参加（英語・美術） ・歓迎会 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア部によるハンドベル演奏 ・ダンス部によるダンスの披露 ・始興陵谷高等学校生徒による独唱 ・始興陵谷高等学校生徒によるダンス ・ホームステイ先に分かれて分宿
12月20日 (水)	午前 午後 夕	<ul style="list-style-type: none"> ・カップヌードルミュージアムの見学と体験学習 ・鎌倉市内の散策 ・ホームステイ先に分かれて分宿
12月21日 (木)	午前	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎会 ・両校生徒代表のあいさつ

5. 韓国交流委員の感想（抜粋）

◆生徒A【1年生】

私は今回の姉妹校交流でとても素晴らしい経験をさせてもらいました。

授業体験では英語のクラスでグループワークをし、始興陵の生徒と交流することが出来ました。伝えきれないこともあったけど、ジェスチャーや表情でコミュニケーションをとり、それが伝わった時の嬉しさは本当に忘れられません。

お互いの言語を英語や翻訳を通して教えあったり、実際に指をさしてこれは何というのか聞いたり、色んなことを学ぶことが出来ました。

ホームステイ先でも、観光に連れて行ってもらったり家族と食事を囲んだりとても良くして頂きました。

初めての海外で不安も大きかったけど、とても楽しくて帰るのが惜しかったです。

全く知らない場所、言葉の通じない環境で自分がどこまで頑張れるのか、楽しめるのか分かってよかったです。これからの将来に向けてと考えても、本当に良い体験でした。

◆生徒B【2年生】

オンラインでしか関わったことのないシフンヌンゴク高等学校の生徒さんと直接会って話をしてたくさん交流しました。

私は昨年度オンライン交流に参加していたので、実際にシフンヌンゴク高等学校の校長先生や、ペアを組んでいた人に会えたことがうれしかったし、感動もしました。

初日のソウル市内観光では、テレビでしか見たことのない世界に今「自分はいるのだ」とすごくうれしく、また、感動しました。2日目と3日目は、直接ペアを組んだ人と話すことができ、また、様々なもてなしを受けて、本当に幸せを感じ、楽しかったことを覚えています。

韓国語でのコミュニケーションもとれ、韓国語のレッスンを受け、頑張ったかいがあったと思いました。

最終日は、ペアの子と別れるのが本当につらく、それほど幸せで濃厚な4日間の交流でした。

◆生徒C【1年生】

今回の韓国姉妹校交流を通じて、韓国と日本の違いを目で見て感じ、体験できたのが心に残りました。韓国の高校で授業を受けたことは貴重な経験になりました。ホームステイ中、日本とは違うところがいくつかあって興味深く感じました。家の玄関のドアは鍵で開けるのではなくて暗証番号のロックだったり、日本ではあり得ないところで車がUターンをしていたり、沢山の違いを感じる事ができ、大変面白かったです。

◆生徒D【2年生】

私は韓国交流に参加して言葉の通じない人と交流はどう接すればいいのかわからなかったけれど、何に関しても「どうしよう」「わかんない」と初めからマイナスに考えずに思ったことを素直に伝え、行動する積極性が凄く大切だなと思いました。

また海外は初めてのことが多く、国際交流をしている間ワクワクした気持ちでいっぱいでした。いつも画面で見えていた世界を実際に体験することができ、新しい不思議な気持ちになりました。そして韓国交流に参加してより海外に興味を持つことができ、私は海外と交流することが好きなんだ、と改めて感じることができました。

また、英語や社会のことなど学習してきたことが、この国際交流で発揮することができ、今までの努力が報われたなと感じることができました。また普段学習していることがとても大切なことだったということを改めて認識することができました。これからの学習のモチベーションにも繋がるなと思いました。

また、韓国交流に参加したきっかけのひとつであるゴミ問題やSDGsについては交流して過ごすことが誠意一杯で観察したり聞いたりすることができませんでした。この課題をこれで終わりにせず、自分の中で引き続き目標としていこうと思います。そしてこれからも積極的に海外交流に参加していきたいです。

6. 今後の展望

令和5年度は相互訪問を再開することができ、参加した生徒は新たな見識を広げることができ、大変有意義な活動であった。

令和6年度以降も、引き続き相互訪問を実施して、日韓の友好を深めていきたい。